

府県支庁名 滋賀県

気 象 災 害 報 告

1961年(昭和36年)
担当官署名: 彦根地方気象台

通年番号	期日・期間	災害発生日	気象現象名	気象災害名	発生地域名	総観気象の状況
02 (災害報告)	1961年 9月14日～9月16日	不明	強風 大雨	強風害 洪水害 浸水害 山がけ崩れ害 強雨害		台風

気 象 観 測 値				被 害 状 況				
観測項目	観測値	起時・期間	観測地点	死者・行方不明者		3 人	道路損壊	69 か所
最低海面気圧	954.5hPa	9月16日	彦根	負傷者		438 人	橋の流失	か所
最大風向・風速	南南東 56.7m/s	9月16日	伊吹山	被災者		人	鉄軌道被害	か所
最大瞬間風向・風速	南東 38.9m/s	9月16日	彦根	住家	全壊・全焼・流失	610 棟	山崖崩れ・地滑り	か所
期間降水量・平年比	98.5mm	9月14日～9月16日	伊吹山		半壊・半焼・一部破損	3388 棟	堤防決壊	か所
最大日降水量	51.2mm	9月15日	伊吹山		床上浸水	250 棟	通信施設被害	回線
最大1時間降水量	15.6mm	9月16日	伊吹山		床下浸水	棟	木材流失	m ³
最大10分間降水量	5.2mm	9月15日	伊吹山	耕地	流失・埋没	ha	山林焼失	ha
					冠水	ha	船舶被害	隻
				農業被害		ha	か所	
				水産業被害		隻	312134 万円	か所
				林業被害		m ³	10376 万円	か所
				交通	陸上			
					海上			
					航空			
				電力・水道被害				
				被害資料の入手先		滋賀県災害誌		
				報告刊行物				
備 考 ・ そ の 他				気 象 及 び 災 害 の 概 況				
県は災害対策本部を設置した。10市町村に災害救助法を適用した。 土木、農林などで約66億円の被害が出た。				第2室戸台風				
				気象状況 台風第18号が16日9時過ぎに室戸岬の西方に上陸し、神戸・大阪間から京都府を通り、琵琶湖の西方を北東に進み日本海に抜けた。滋賀県では、16日台風第16号が室戸岬に上陸する頃には風が強まり、東部山岳地帯で強雨が連続した。				
				被害状況 死者3人、家屋の全壊600戸、交通はまひし通信は途絶し、県下殆どで停電した。特に湖南・湖西で被害が大きく、風による被害は、伊勢湾台風の被害を大きく上回った。				